

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			・基準数より大幅に多く配置されている ・基準数より多く、手厚い配置となっている
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		・行えている業務と行えていない業務がある ・振り返りシートの活用、全体会議でフィードバックを行っている ・シフト上参加する職員に偏りが生じる
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者アンケートを集計し、全体会議で職員へフィードバックして業務改善につなげている
	⑥	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公表しているか	○			・ホームページで公表している ・保護者アンケートの集計結果は、保護者へ配布している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・開所してから現在まで一度も第三者評価は行っていない
	⑧	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・資格取得、専門分野の大学受講などを行う ・年に数回、全体会議で事例検討を行っている ・ZOOMでの研修参加
適切な支援の	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・保護者に対し年2回のモニタリング(面談)を実施、年1回に保護者の願いを調査した上で支援計画を作成している
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	・現時点ではアセスメントツールは活用していない
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・年間計画を立て年間予定表を作成 ・週1回の常勤会議にて1週間のプログラムを決定している
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・屋外活動をメインとしているが固定化しないよう活動場所は複数の公園を使用したり散歩を行ったりしている ・室内活動の内容や実施担当者は固定ではない ・夏休みには非常勤職員もプログラム作りに参加している
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・活動時間、利用者・スタッフのメンバーを考慮し課題を見極めて活動内容を決めている
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・共通した集団活動を基本としているが、制作など個々の能力の差が出る活動では、行う内容をレベル別に分けて計画を作成している	

の提供	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・半日支援の時は支援前に打ち合わせを行っている ・1日支援の時は前日にLINEにて共有している ・スタッフ回覧、1日の予定表にて確認している
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎があるため、終了時間が合わず翌日になってしまっている ・送迎があるため日々の振り返りは行ってないが、気付いた点はスタッフ間で共有し、必要があれば常勤会議で検討、その後全体会議で周知している ・支援後、記録を書きながら情報共有している ・子供個別に活動ノートをつけていて連携している ・送迎、清掃などで忙しく、スタッフがその日の内に気付いた点を共有するのが難しいことが多い
	⑰	日々の支援に関しては正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・特に検証すべきケースが発生した場合は、常勤会議で検討し改善点を決めて全体会議で周知している
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者へ年に2回のモニタリングを実施し、支援計画の確認、変更を行っている
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナのためR3年度は開催なし
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・学校の情報は年間計画表や月間計画表で確認している ・学校送迎時に申し送りでその日の利用者の様子を確認している
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・受け入れなし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供を受けている子もいる
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・行ってない
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・子ども部会のメンバーとして職員が参加している
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳や送迎時に日々状況報告して共有している ・課題が見つかった時には保護者の意向を確認して支援策を考えている
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時にアドバイスを求められた時に行っている程度である 	

保護者への説明責任等	③⑩	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・利用者との契約時に保護者に対して説明を行っている
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援をおこなっているか	○			・送迎時やモニタリング時に行っている
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・そらまつり、クリスマス会の計画はあったがコロナ禍で行えなかった ・コロナのためR3年度は開催なし ・コロナ以前は実施していた
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・苦情対応者が対応することになっている
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・毎月「そらだより」を発行 ・LINEグループを設立
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・写真付きの連絡帳、ジェスチャー(サイン)、絵やことばで情報伝達するように配慮している
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・コロナのためR3年度は開催なし
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	・一部マニュアルを修正中
	③⑲	非常災害時の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行っているか	○			・月に一度支援中に避難訓練を行っている ・毎月の全体会議で振り返りを行い、改善点を話し合っている。 また、職員の避難訓練を行っている
	④⑰	虐待を防止するために、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	④⑱	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・指針を作成、保護者に文書にて説明し、同意書にサインをもらっている
	④⑲	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	・保護者へのモニタリングで確認し、該当利用者には食事やおやつ内容を配慮して対応している ・必要があればお弁当を持参してもらう ・医師の指示書はないが保護者からの要望には答えている
	④⑳	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハットが発生した場合は報告書を作成し、会議にて検証、改善策を取り決め、全職員へ周知している ・毎月の全体会議で振り返りを行い、全職員へ共通理解を深めている ・年度末には年間の振り返りを行い、繰り返し発生しないように職員配置や対応の仕方を再確認している